

○新商品の開発を含むトマトの加工・販売

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	岩手県奥州市江刺区 上小田代営農組合			
協定面積 29.0ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻、大豆、トマト他			
交付金額 634万円	個人配分			48%
	共同取組活動 (52%)	道・水路管理		19%
		法人設立関係		9%
		その他		24%
協定参加者	農業者20人、農事組合法人上小田代（構成員3人）			開始：平成12年度
人・農地プランの作成状況	集落全域で作成済			

2. 取組に至る経緯

上小田代営農組合集落は、奥州市江刺区南部の田原地区にあり、一関市との境である阿原山の麓の山間にある集落で、協定農用地はすべて急傾斜の田となっている。

第1期対策より、集落営農に取り組むため協定を締結し、営農組合が中心となって農作業の受委託や農産物の加工・直売など多角的な農業経営に取り組んできた。

平成22年3月には、営農組合を農事組合法人上小田代として法人化し、3haを集積している他、水稻3作業を約10.1ha、大豆作業約5.2haを受託し、集落内協定農用地の維持を図ってきた。

3. 取組の内容

3期対策では、農事組合法人との連携を強化。

転作作物として栽培している加工用トマト（1.5ha）を加工し、ピューレを製造。

その販路拡大のため、県内の製造業者と連携してトマトプリンを商品化し、年間約1万個を販売している。

その他、軽トラの屋台により市のイベント等でトマトラーメンを提供する等、地域の特色を活かして6次産業化に取り組んでいる。

また、このような取組のため集落内の者を構成員として雇用するなど地域の雇用確保にも貢献している。



【加工用トマトの栽培状況】

ABOUT 上小田代集落

プリン発売

組合のお母さんたちが、トマト収穫の「おやつ」として作った「プリン」を商品化したのが始まりで、現在3種類、新感覚スイーツとして、好評販売中!!

◎トマトプリン＆ゼリー ◎やまぶどうプリン ◎米粉プリン

【販売店】江刺ふるさと市場、いわて生協コープアテルイ
Webでも好評販売中。こちら⇒<http://kamikodashiro.com/>

軽トラ屋台村(上小田代は「とまとスープ」販売)

イベントや祭りには、他の組合とともに軽トラを改造した屋台で出動。なにを売っているかは楽しみ〜!!

とまとラーメン販売

夜味が良く、赤い色が愛されているクッキングトマトを煮込んだとまとスープで「とまとラーメン」を開発しました!

とまと味噌ラーメンも販売です

農事組合法人 上小田代

〒028-0171 岩手県奥州市江刺区田原字原道式1
代表理事 伊藤 実

TEL・FAX: 0197-32-2533

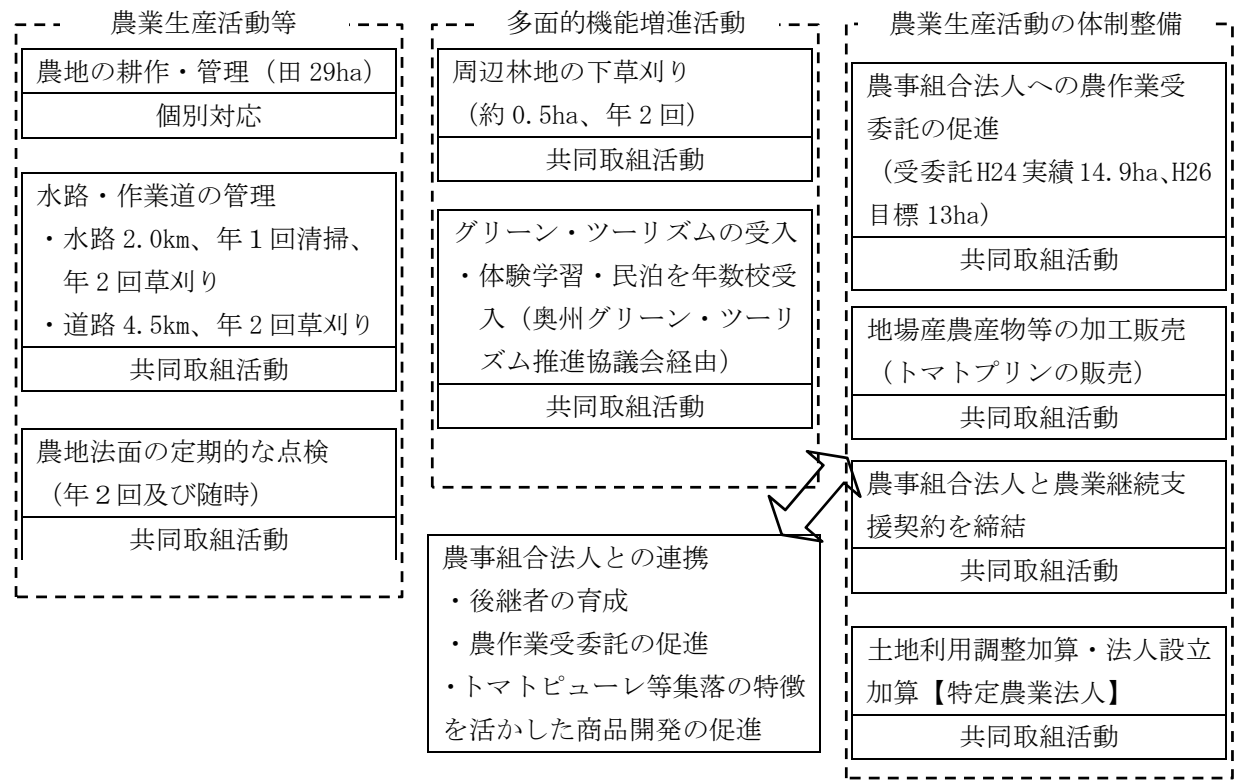
【集落の特徴を活かした特産品の開発】

〔集落の将来像〕

- 農事組合法人の設立による農業生産活動の維持と将来の担い手の育成
- 集落の特徴を活かした6次産業化の取組の促進

〔将来像を実現するための活動目標〕

- 担い手の育成を図るため、農事組合法人が土日の作業員として後継者を雇用
- 認定農業者である農事組合法人への農作業受委託の促進と中山間地域総合整備事業導入（26年度より事業開始）による省力化の促進
- 米粉プリン、山葡萄プリン、おはぎプリンに続くトマトみそラーメン等の商品開発の促進



〔集落外との連携〕

- 地元のホテル（トマトスープの開発指導）や飲食店（東北自動車道前沢 S A レストランでの上小田代トマトラーメンの提供）及び製造業者（プリンの製造）との連携
- 地元のイベント等で、他の集落と連携した「軽トラ屋台村」でのトマトラーメン等商品の販売
- 奥州市グリーン・ツーリズム推進協議会との連携による農業体験・民泊の受入

4. 今後の課題等

協定参加者の高齢化に伴い、今後、農業生産活動を継続させていくためには、農事組合法人が担う役割が多くなることから、法人の構成員となる担い手の育成確保の他、地場農産物を活用した加工品の安定生産及び販路の拡大が課題となっている。

〔第 2 期対策の主な成果〕

- 作業受委託の促進（H21実績10.1ha）
- 加工用トマトの栽培促進（H21実績55a）
- 機械・農作業の共同化 水稲直播栽培（H21実績10a）、雑穀（モロコシ）栽培（H21実績13a）
- 地場産農産物の加工販売 JA祭り他に出店（山菜・きのこ・トマトスープ等）